

## 激励賞作品



井手 大雅さん (小学6年生)

### 『KURUMA イス』

みんな平等に暮らせるようにするにはどうすればいいかを考えて、使いやすい車イスを書きました。色々な障がいを持つ人や、普通の人でも使いやすいようにと考えた。



加島 愛絆さん (小学2年生)

### 『転ばない靴』

私はよく転んで怪我をするので、転ばない靴があれば、おじいちゃん、おばあちゃんが怪我をしなくていいと思います。この靴は、転びそうになったら、転ばないセンサーが反応して、体をもとに戻してくれる、転んでも怪我をしない靴です。



遠矢 詩さん (小学4年生)

### 『なんでもみえるめがね』

高齢者や目に障がいがある人でも、さわったら眼鏡のAIが起動し、触ったものがどんなものか脳が分かるようになる眼鏡。



**曾根田 遼さん (小学4年生)**

**『手が届かない所に湿布を貼ってくれる  
タブレット』**

おばあちゃんの家に行った時に、いつも「背中に湿布を貼って」と言われて貼ってあげます。おばあちゃんは1人の時、背中に湿布を貼るのは大変だろうなと思います。タブレットに貼りたい所を押すと、そこに機械が動いて湿布を貼ってくれます。おばあちゃんは「それは欲しい！」と言ってくれました。



**浜田 光希さん (小学5年生)**

**『段差もらくらく空飛ぶイス』**

イスが宙に浮くので高い段差も乗り越えられます。空にも移動できてデイサービスの送迎もいらない。お風呂も自分で入らなくてもイスが自動で入ってくれるから、毎日湯船につかれることを絵にしました。ゲーミングチェアのようなカッコいいイスで、快適な生活を送ってほしいです。



**石本 一稀さん (小学5年生)**

花が好きなので、花を使って移動できたら子ども、大人はもちろん、お年寄りの人には足や腰が不便なため、この道具があったら楽に移動できると思い描きました。

この作品には「いつか花で空を移動してみたい！」という強い願いが込められています。この絵が入賞して、人々に花で空を飛べる時代が来ることを強く願っています。



## 小淵 健之助さん（小学2年生）

### 『未来の車椅子』

この車椅子は自動運転装置がついており、タブレットで喋ったことで操作できる音声操作機能もあります。話したり、思ったりした商品などを車椅子に装着しているクレーンアームが取ってきてくれる機能もついており、どこでも使える便利な車椅子です。



## 松岡 彩太さん（小学1年生）

おじいちゃんが靴を履くときにきつそうだったから、靴の裏から空気を出して届くようにして靴を履けるように考えました。リモコンで操作でき、手が届くまで空気を出すことができるので、おじいちゃんやおばあちゃんに合わせて調整ができます。